

阿宮の健康を守る会の未来に向けて

島根県出雲保健所長 中本 稔

健康を守る会40周年、おめでとうございます。

出雲保健所ではこの3年間、新型コロナウイルス感染症対策が精一杯でした。現在の第8波の感染の中で地区活動を続けられ、40周年の記念総会が開催されるにあたり、会長をはじめ住民の皆さまや関係者のご尽力に敬意を表したいと思います。

昭和52(1977)年に、当時の大社町日御碕地区と一緒に斐川町阿宮地区において重点地区活動(移動保健所)が始まりました。島根県が重点地区活動を始めた歴史的な記録として残っています。昭和58(1983)年に健康を守る会が結成され、斐川町全町の、そして島根県の地区活動の先頭にたって健康づくりを進めてこられたことは本当にすばらしいことです。

高橋会長には保健所の各種事業でもお世話になっており、認知症になっても地域で暮らすことができる文化を醸成しようと言われています。健康をめざす生活習慣は、食習慣をはじめ運動や労働、休息、近所づきあいを含めて、まさに地域の文化です。阿宮には、健康の歌があります。守る会の資料には健康の川柳も残っています。これからもこの守る会が中心となって、健康の文化を守り続けて欲しいと思います。

今後とも、よろしく願います。